

平成27年度 第2回 藤枝市男女共同参画会議 要旨

日 時：平成28年2月26日（金）9:00～11:00

会 場：藤枝市役所 5階 大会議室

出席者：委員12名（定員15名 3名欠席）

事務局4名

関連の施策・事業	各委員からの質問	当局からの回答・対応
<b>(1) 平成28年度推進施策について（質疑）</b>		
第2次行動計画の目標数値	子育てを両親が共同で行う割合の29年度までの目標値が80%とあるが、これがかなり高すぎる目標値ではないか？これらの事業はこの目標値に進んでいるのか？事業をやって手ごたえがわかればそこら辺を伺いたい。	現在、市政モニター制度がないためこの数値は上がっているのではないかと推測されるが、平成25年度以降の数値を持ち合わせていない。
少子化対策事業	新たに少子化対策事業が入ってくるということであるが、他市や県ではどこの部署が事業を担当しているのか？	他市の状況については調べていない。当市の少子化対策事業の全体的な統括は企画経営課が行い、最初の部分「出会いとか結婚っていいですね」という意識を醸成するところが男女共同参画課。子どもを産する部分は健康推進課。生まれた後の子育ての部分は児童課。ということで、三課が順番につながっていくような形、それを統括するのが企画という形での分担である。ですから、男女共同参画課が少子化対策事業を全部やるわけではない、という考え方で進める。
出会い・結婚サポート事業	市社会福祉協議会でも婚活事業を行っているが、そちらとの連携はどうなるのか？	市の事業に関しては健康福祉部門と連携する。社会福祉協議会にも情報を投げ、やりとりをさせていたいただく。
<b>(1) 平成28年度推進施策について（委員の意見）</b>		
第2次行動計画の目標数値	目標数値の「子どものしつけを両親が共同で行う割合」は、最近の新聞に父親の子育ての参加率が掲載されていて、68%くらい。80%も数値では高く見えるが実は近づいているのかもしれないと感じた。	

関連の施策・事業	各委員からの質問	当局からの回答・対応
<b>(2) 平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について（質疑）</b>		
啓発情報誌事業	他市の広報誌は、編集委員は参考に見ているか？	いいところはすべて参考にしよう、編集委員に他市の広報誌を提供している。
男女いきいき社会推進事業（H27） 女性活躍推進事業（H28）	パパママ講座の実績で参加人数が掲載されているが、この数字が多いのか少ないのかわからない。今までがどんな数値なのかな？と思った。経年比較して参加率がどのくらいなのか？その数値がP1の子育てを両親が共同で行う割合と関係してくるのかな？と思った。	パパママ講座の参加人数については、料理教室はほぼ毎回定員満杯、パパと〇〇で遊ぼうは開催会場や講座内容を変えたりするため、人数の比較が難しい。
〃	パパママ講座の募集がかかるのが小学校3年生くらいまでであるが、男女共同参画課では子育ての年齢はいくつまでと考えているか？	男女共同参画課のほうで担当するのは小学校低学年くらいまで。それから大きくなっていくと児童課等にバトンタッチしていく。すべての子どもさんにやってあげたいが、たぶんそこまではできない。中学生でスポーツなんかをやっているならばスポーツ振興課がスポーツに関わる中で親子で一緒にやっていくとか。スポーツフェスタなどがある。
〃	パパと〇〇で遊ぼう、は来年どんな計画しているか？	国際友好協会が来年度、パパと英語で遊ぼうと同じ企画を年5回計画している、という情報をいただいている。よって、同じことをしてもしょうがないので、〇〇については英語以外にしようと考えている。
多文化共生事業	今回、5カ国版（1冊）になる予定なのか、それともこのままばらばら（4ヶ国語版とスペイン語版）で改訂するつもりなのか？	予算は、現状と同じ別冊で改訂した場合で要求してしまった。委員のおっしゃる通りであり、在庫管理を考えれば2冊よりも1冊を管理するほうが手間が省ける。ただ、1冊にまとめた場合の金額がいくらかかるかわからないので、予算の範囲内で、可能であれば1冊にまとめていきたい。4ヶ国語は見開きでちょうど4分割されているが、5カ国語にしたときに、一枚のページに収まるかという、レイアウトの問題もある。
少子化対策事業	合計特殊出生率とは何か？	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生に産む子どもの数の平均値。人口を維持するには2.07以上が必要とされるが、2014年は国平均1.42、県平均1.53、藤枝は1.44。
出会い・結婚サポート事業	婚活イベントの中で、藤枝ならではの、というのはどんな内容なのか？	藤枝は、お茶の産地であるので、茶畑でなにかイベントを企画するとか、聞き茶コンテストをクイズ形式でやるとか、アイデアはいろいろあると思うが、今後、企画経営課と「藤枝ならではの」という部分を詰めながら検討していく。現時点ではっきり、これをやる、と決まった案はない。

関連の施策・事業	各委員からの質問	当局からの回答・対応
(2) 平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について（質疑）		
女性参画率の拡大 （女性人材リストの活用）	女性人材リストは一概には言えないと思うが、職業や資格を一つの例としてどんなものがあるのか教えていただきたい。また、候補者をどのように集めているのか教えていただきたい。	男女共同参画地区推進員が2年任期で男女共同参画について学んでいるのでその方たちに登録をお願いしている。それ以外にも男女共同参画を学んだ方が基本であるが、関わっていただいた方が元先生とか、幼稚園の先生、カウンセラーなど資格をいろいろ持っている。その方たちに登録をお願いし、持っている資格に印をしてもらう。市の職員のOB。項目は20項目ほどある。（男女共同参画、人権、子育て・家族、消費生活、医療保険、福祉、高齢者介護・・・）
一般への啓発	男女共同参画の市民への浸透や理解度についての表れとして、生涯学習で市民への出前講座の開設がされているが市民からの問い合わせや年間何回出前講座を行っているか教えてほしい。	男女共同参画地区推進委員が、地区で講演をしてほしい、という流れからの町内や民生委員さんの前での講座は何回かさせていただいたが、生涯学習の出前講座という形での講座は行わなかった。ただし、要望があれば講座はさせていただきます。
(2) 平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について（委員の意見）		
啓発情報誌事業		磐田市もいい広報誌を出して参考になる。事務局にお願いがある。事務局に送付された他市の広報誌は編集委員に参考に見せてあげてほしい。
啓発情報誌事業 ぱりて事業		長く継続している事業がたくさん見受けられる、情報誌RUNらんらんもそうだし、ぱりての事業もそう。効果について検証をしているか？数値的なものを把握し、どれだけ市民に知られているかを検証してほしい。事業にはお金もかかっているんで、もういらなかなという事業もあると思う。それよりも新たなものも取り込んで行ったほうがよい。
ふれあい体験学習事業		マイジョブ講座の講師を父親にしたらどうか？前、息子が通っていた高校がそれをやっていた。誰の父親かは伏せて、父親の職業を授業で紹介してもらい、学校に父親が足を運んでもらう。学校行事に入れ込まないと子どもはとても忙しいので。
//		教育委員会もこういったものに力を入れてイベントもあり、家庭で親子で話し合う機会をもつということでもいろいろやっている。こども未来応援会議では藤枝ならではの考えをベースにしている。現在は親子で「藤枝マナー」を通して話し合う機会を持つということを何年か続けてやっている。まさに子育ては学校だけではできない、日々の家庭の中での話し合いを増やしていく、そんな活動もしている。
女性のための相談事業		女性のための相談事業が昨年比で減少していることも。男女共同参画の広報活動と市民への浸透を、いろんな角度から推進して頂ければと思う。
多文化共生事業		多文化共生事業について、生活ガイドブックの活用ということで、今回改訂をする、とある。4ヶ国語はH23、スペイン語はH25に作成とありますが、ペルーやコロンビアなどスペイン語圏の方が多いですよ、と委員会から希望して追加で作成いただいた。その時、4ヶ国語のところスペイン語を押し込んでください、と頼んだが、今改訂する予定はないから追加版で出しましょうという経緯から別刷になった。コストと手間を考えると、現在あるものを改訂したほうが簡単だと思うが、今後毎年発行するとある。毎年発行となれば、この機会に1冊にまとめたほうが長い目で見ると手間がかからないとも考えられるし、このタイミングで改訂しないと1冊になれないと思う。レイアウトは印刷業者に相談をかければ何でもできると思う。もし、来年度が予算の関係で手おくれということであれば、時間をかけてレイアウトを練り、1年後に1冊にまとめるということでご検討いただきたい。
出会い・結婚サポート事業		商工会議所で昨年、初めて婚活パーティを企画し行った。焼津市商工会議所が長くやっていると聞いていたが、藤枝も、結婚子どもを産んでもらおうという考えがあり、企画してみたところ希望者多数で、予定していた定員の倍の申し込みがあった。ただ、私たちも初めてだしそんなに大勢は自信がないということで、定員を超えた人をお断りした。内容もいろいろ考え、本人たちが打ち解けるまで、ゲームをしてなごんでからお話をしてもらったり、お酒はやめてお茶とケーキにした。いろいろ個人情報も漏れたり、あとあと付きまとられるようなことがあったら、それはそれで困るな、とかその辺はお互いが合意をして資料を持ってお話ししてもらおうとか、なかなか老婆心も混じって大変だった。婚活イベントを民間事業に委託する、とあったがこういうことは多いのか？同じ時期に市のほうでもパーベキューをしながら婚活パーティという企画があった。あまり重なる、両方に行きたかったのに、という声もあるかな、と。次回もまたやってみましょう、と企画を立てているが、市と時期が重なるのもつまらない。
//		婚活パーティに参加する若者はみなさんまじめで、本気なんだな、ということを感じた。
//		総合計画審議会の中で、相当議論してきたが、男女共同参画の視点で少子化対策として出会いの場を作るというのは私はちょっと違うと思う。未婚率が多いからと言っても、男女の結婚したいという考えは違う。しかし、少子化は止めなくてはならないということにはわかっている。最終的にこの件については企画経営課が参画するということになったので。
//		私も結婚して子作りっていうのはデリカシーにかけると思う。あまりそこは強調するのは聞き苦しいなと思った。男女共同参画ということを考えると、説明でちっと聞こえたが、婚活イベントの対象が仕事をしている男女とのことだが、そこはなかなか面白いと思った。商工会議所の婚活イベント対象者は、男性は市内で働いている方、女性はそれに限らず、とした。
男女共同参画事業全般		男女共同参画はやる事が多岐にわたるので、連携するものはして、無駄を切捨て、いいものを取り入れることをどの課でもやったらいい。民間では当たり前であるが、実行してその効果を考えているが、それがやれていない。ずっと同じことをやっていたらいいという感じが見受けられる。

【参 考】

藤枝市男女共同参画会議について （藤枝市男女共同参画推進条例より抜粋）	第17条 男女共同参画を円滑に推進するため、藤枝市男女共同参画会議を置く。
	第18条 行動計画に関する事項その他男女共同参画社会づくりの推進に関する必要な事項について協議する。
	2 会議は、男女共同参画の推進に関する事項について、市長に意見を述べることができる。

【問合せ】 藤枝市 市民文化部 男女共同参画課 （直通 054-643-3198）